

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		寝たきり高齢者介護慰労				所管	福祉部 高齢福祉課					
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度						
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始]	平成15年度		
		[小 柱]								[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	寝たきり高齢者介護慰労事業実施要綱								
	事業対象	要介護4以上の寝たきり高齢者を在宅で常時介護している家族等										
	事業目的	寝たきり高齢者を在宅で介護している家族等に対して慰労品を支給し、介護者の肉体的・精神的疲労を癒すことを目的とする。										
	事業内容	要介護4以上の寝たきり高齢者を在宅で常時介護している家族等に対し、申請に基づき年度に1回、マッサージ券または食事券(いずれかを選択)の支給を行う。 ・マッサージ券の支給 区が指定した業者で利用できるマッサージ券を寝たきり高齢者一人につき3,000円分支給する。 ・食事券の支給 区が指定した業者で利用できる食事券を寝たきり高齢者一人につき3,000円分支給する。										
	委託の有無	なし	委託内容									
補助金の有無	なし											
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度					
	活動指標	交付人数 (人)		170	234	165	167					
	成果指標											
	決算額 (単位：千円)				672	474	459					
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			1,116	532	760					
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			672	474	459					
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0					
		総経費			1,788	1,006	1,219					
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0					
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0					
一般財源 (区負担額)			1,788	1,006	1,219							
前年度から改善した事項	他給付事業の申請に窓口に来た方で、対象者に該当する場合に、本事業の案内を行うようにした。地域包括支援センターに、本事業に該当する方への案内を依頼した。											
評価の視点	評価	評価の理由										
	必要性	3	在宅福祉向上のため、在宅で寝たきり高齢者等の常時介護を行っている家族を慰労する必要性は高い。									
	効率性	3	申請を受け、その場で審査を行い支給の可否を決定し即時給付を行っており、効率よく給付を行っている。									
	手段の適切性	2	券の給付は事業対象者にとって利用しやすいものであり、給付方法として適切である。									
	目的達成度	1	事業の周知に努めたが、申請件数に反映されなかった。									
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性					
食事券については交付枚数に大きな変化はない。マッサージ券については交付枚数に比べて利用枚数が少ない状況にある。事業の周知についてさらに工夫をする必要がある。							維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了				